

## 琴浦町教育委員会会議録

日時 平成22年 1月27日(水) 午後1時30分～午後4時00分

場所 琴浦町生涯学習センター第1会議室

出席委員 小谷恵造委員長・谷口正委員・進 修委員・石前富久美委員・永田 武教育長

その他出席者 藤田教育総務課長・藤村社会教育課長・林原人権・同和教育課補佐  
谷口学校給食センター所長・岡本指導主事・谷本教育総務課補佐

### 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名について

日程第2 報告事項 教育長報告

日程第3 議案第1号 平成22年度当初予算について

日程第4 議案第2号 平成21年度補正予算(第7号)について

日程第5 協議事項 議事録参照

## 会議内容の記録

- 日程1 議事録署名委員の指名について  
谷口委員と石前委員をお願いします。
- 日程2 教育長の報告
- ① 1月3日成人式に対象者210名の内168名参加し、カウベルホールで式典が開催されました。
  - ② 1月9日10秒の愛シンポジウムをカウベルホールで開催しました。
  - ③ 1月10日に柔道、剣道、空手の武道館鏡開きを行いました。
  - ④ 1月16日～17日に第36回東伯地区部落解放文化祭が行われました。
  - ⑤ 1月20日に陰山メソットに学ぶ教職員研修会を以西小学校を会場に開催しました。
  - ⑥ 1月21日第17回小学校適正規模・配置審議会が行われました。
  - ⑦ 中学校の体験入学を赤碕中は1月22日、東伯中は1月26日に実施しました。
- 子ども達の活躍
- ① 八橋小学校の6年生女子1名が、全国学校図書館協議会の第55回青少年読書感想文コンクールで入賞されました。
  - ② 赤碕中学校生徒が、花づくりをとおした環境問題を考えるということで、全国表彰されました。
- 今後の日程
- ① 1月28日琴浦花づくりコンクールの表彰式があります。
  - ② 2月8日鳥取県教育研究大会が倉吉であります。
- 日程3 第1号議案 平成22年度当初予算について
- 質問 東伯中大規模改造の内容は。
- 回答 サッシが老朽化してきて危険であるため、窓枠等建具の改修工事です。
- 質問 生活体験事業はどういうことをするんですか？
- 回答 以前のセカンドスクール事業で、家庭を離れて船上山少年自然の家を利用して、そこから1週間程度学校に通う事業です。
- 回答 3公民館で実施している、わくわくキッズ事業も入っています。
- 質問 無儘庵には、現在パートさんがおられますが、来年はないんですか。
- 回答 パートさんの賃金は、健康福祉課で予算計上しています。
- 質問 カウベルホールの収支はどうですか？
- 回答 利用人数はアップしましたが、使用料としては増えていません。
- 質問 進学奨励金は議会でやめてはと質問がでていましたが。
- 回答 これは現在の実施計画18年～22年の計画で実施していますので

- 2 2 年も前年度どおり予算化しています。
- 回答 琴浦町あらゆる差別をなくする実施計画などに基づき実行している。今後については、町民意識調査等を参考に、2 3 年度からの実施計画を作成する中で、検討していきたいと思っています。
- 質問 文化センターの館長等の人事は？  
昨年までは役場職員が館長となっていたが、今年から文化センター等で地域の方を推薦いただき、教育委員会で任命しています。
- 議案第 1 号について同意された**
- 日程 4 議案第 2 号 平成 2 1 年度補正予算(7 号)について、  
**議案第 2 号について同意された**
- 日程 5 協議事項について
- 協議事項 1 私立中学校等就学届出書について。
- 質問 中高一貫の学校ですね。実績等はどうですか。
- 回答 きめ細やかな対応はされているようで、そのあたりを評価される保護者はあります。
- 意見 そういう面では、学校の存亡もあるので一生懸命の部分があると思います。
- 意見 小学校のときの人間関係が悪く、そういう面での受け皿になっている部分もあると聞いています。
- 協議事項 2 全国学力学習状況調査について  
来年から調査が悉皆調査から注出調査に変わります。町としては校長会とも協議し、全校で実施する方針ですので、経過等を指導主事から報告します。
- 説明 昨年 1 2 月 2 8 日に実施要領が決まり、1 月 6 日に文科省から県教育委員会への説明、その後県から地教委の説明がありました。町は、校長会を開催し方針等を決めています。
- 平成 2 2 年度全国学力学習状況調査実施要領の相違点の説明。
- ・ 調査方法で、文科省が学校を指定して調査を実施する。
  - ・ 調査対象外の学校で希望利用ができる。但し採点等は設置者が行う。
  - ・ 実施日は 4 月 2 0 日です。
  - ・ 結果の公表では、全国・県の平均正答率は出すが、県には出さず、地教委、学校には採点結果だけを出し、学校別の正答率等を出さないようです。そのあたり県の指導方法や、学校の集計方法等で、労力が必要となってきます。
- 指定校の分析や活用方法、希望利用校の採点方法、意識調査のどの部分をするのか等具体的に詰めながら、調査を実施していこうという方向です。

質問 注出校でも学校の平均正答率や全国と比較するデータは来ないのか？

回答 それぞれの町、学校の正答率はきません。

意見 やはり他との比較で、ここが劣っているようなデータが来ないと、指導のどこに問題があったとか、そういうことに生きてこない、意味がないと思う。それなら一般的な学力テストの方が有効ではないかと思います。

意見 基本的には国や、県のデータはきますので、独自に算出し、分析することは可能だと思います。この調査の狙いは、実態調査を通して国は、国の施策にどう生かすか、県、町、学校がそれぞれ施策や、指導にどう生かすか、といことが目的だと思います。

意見 全校が参加するというのはいいことで、データー処理をすることについてもいいと思います。

意見 この調査は学校にとっても、全国調査ということで緊張感があっていいと思いますし、始まったのが3年前で今度の中学3年生が小学6年のときで、どう変わったかというのを見る意味でも貴重でないかと思います。

回答 調査が毎年違う意味で注目されることは、いいことではないと思う。いづれにしてもやるからには、うまく活用していきたいと思います。

連絡事項 教育委員会研修について  
2月18日～19日に尾道市立土堂小学校に教育委員5人と職員1人で計6人でいきたいと思ひます。日程は別紙のとおり

委員長 16時00分閉会